

神奈川畜産情報

発行所
神奈川県畜産会
横浜市磯子区西町14-3
畜産センター内
電話 045(761)4191
FAX 045(759)1162
発行人
平本 光男

隔月1回(1日)発行

〔神奈川畜産情報(平成18年1月号以降)はホームページでもご覧になれます〕

神奈川県畜産会のホームページ

「かながわ畜産ひろば」[\[http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm\]](http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm)

(公社)中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

がんばる!畜産!9

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!

配信内容:ヨーロッパアルプス産肉用牛とチーズ街道 オーストラリア・ブレンダース・ブレンダース・ブレンダース
周年 第132回大会総集編/国際畜産展総集編
2024 総集編 ほか

スマートフォンからはこちら
パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846

謹賀新年



(一社) 神奈川県畜産会
会長 平本 光男

令和八年の新春を迎え皆様のご健勝を心からお慶び申し上げます。

まずは、(一社) 神奈川県畜産会に対し、昨年一年間、皆様より寄せられましたご厚情に深く感謝いたします。本会の会長に就任し二年半となりますが、ますます責任の重さを痛感しており、本県の畜産の発展のために微力ながら頑張っていく所存ですので、本年も変らぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本会は、昭和三十一年(一九五六年)一月三十日に社団法人神奈川県畜産会として設立認可され、令和八年(二〇二六年)一月三十日に設立七十年を迎えることとなります。七十年もの長きにわたり、畜産経営の改善、安全な畜産物の生産、家畜衛生の向上など、本会の活動が幾多の曲折を経ながらも今日に至りますことは、

先人の御功績はもとより、国、県、中央畜産会や地方競馬全国協会など関係団体からのご支援・ご指導、会員の皆様をはじめ多くの方々からのご支援・ご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。

昨今の畜産情勢は、配合飼料価格が依然として価格高騰前に比べ五割高の水準にあるなど、あらゆる生産資材価格が高騰する一方で、牛乳・乳製品の消費減退による経営悪化等から都府県の酪農家戸数が五千戸を割り込む可能性が指摘されるなど、極めて厳しい情勢にあります。そうしたなかでも、昨年十月に開催された「第十六回全日本ホルスタイン共進会北海道大会」では、本県からの出品牛が優秀な成績を受賞するなどうれしいニュースもありました。政府は二〇二五・二〇二九年度の五年間を「農業構造転換集中対策期間」と位置付けておりますが、国には是非とも畜産農家が将来のビジョンを描けるような骨太の政策を推進していただきたいと考えております。

一方、県におかれましては、物価高騰対策として、令和七年十二月補正予算で、畜産農家の配合飼料及び輸入乾牧草購入費の負担増に対して補助するとして、二億九千万円を超える支援策を措置していただきました。本会としても、県の支援がいち早く生産者のもとへ届くよう、補助金申請等の窓口

として、補助金交付手続き等を支援させていただきます。

次に、家畜伝染病については、高病原性鳥インフルエンザが昨年十月二十二日に北海道の養鶏場で発生したのを皮切りに、関東でも規模の大きな養鶏場で発生するなど、全国にわたり発生が加速化の様相を見せております。本会は、県の補助事業を活用して、養鶏農家が行う防鳥ネットや動力噴霧器等の整備を支援させていただいてありますが、五月頃までは感染リスクの高い状況が続きますので、関係者の総力をもって、万全な防疫体制の構築に努められますようお願いいたします。

豚熱についても、依然として県内で野生イノシシの陽性事例が確認され続けており、養豚場へのウイルスの侵入リスクが下がっていないとは言えない状況にありますので、生産者をはじめ関係の皆様には、家畜伝染病に関する最新の情報収集につとめていただくとともに、飼養衛生管理基準の遵守を徹底いただくようお願いいたします。

さて、昨年十一月二日に湘南台公園で開催した「かながわ畜産の日」の記念イベントは今回が三回目となりましたが四千人的ご来場をいただきました。来場された方へのアンケートでは、「おいしかった」、「県産畜産物をたくさん知ることができた」、「農家の皆さん頑張ってください」など、本県の畜

産を応援するたくさんの方のメッセージをいただきました。

また、十月から十一月を「かながわ畜産強化月間」と位置づけ、新たに馬事畜産振興協議会補助事業「地域畜産フェア拡大推進事業」を活用し、各地域で開催されたイベントで県産畜産物を提供する取組に協力させていただいたほか、学校給食でも、かながわの畜産のPRや子どもたちへの理解醸成活動を展開いただくなど、関係の皆様には大いにご協力をいただきました。ありがとうございました。

大消費地を身近に抱える本県の畜産は、輸入畜産物や国内他産地との競合下、安全・安心で信頼される畜産物を供給し、地域に根ざした畜産を目指すことを基軸として、県産畜産物のブランド戦略等に取組んできました。今後も、社会環境や消費者意識の変化を捉え、生産者・行政・団体が一丸となってブランド戦略等を実践していくことが本県畜産の発展に繋がっていくと考えています。

本会としては、この難局を乗り越えるため、全ての関係者と認識を共有し、全力で取り組んでいく所存であり、皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、あらためてお願い申し上げます。

令和八年が本県畜産と皆様にとって、より一層の飛躍の一年となることをご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

鳥海弘氏 旭日小綬章を受章

令和7年春の叙勲において、(公社) 神奈川県獣医師会前会長の鳥海弘氏が「旭日小綬章」(獣医師功労)を受章されました。農林水産省によると、今回の春の叙勲のうち、農林水産省関係では、旭日章受章者は57名、うち中綬章1名、小綬章11名、双光章19名、単光章26名でした。

5月20日(火)に農林水産省において、勲章伝達式が行われ、笹川博義副大臣から勲章を授与された後、受章者全員、配偶者同伴で皇居に移動、「春秋の間」(一般参賀で皇族の方々が手を振っている部屋)において、天皇陛下に拝謁を賜ったとのことです。

地方獣医師会会長である鳥海弘氏が、会長在任中に(受賞時は会長)、小綬章を受章されたことに対し、心よりお喜び申し上げます。

祝賀会は9月15日(月・祝)、レインプラントホテル海老名において、盛大に執り行われ、藏内勇夫日本獣医師会会長、酒井健夫日本大学前学長をはじめ、多くの著名な方々がご臨席され、大変賑やかで温かみのある会となりました。これもひとえに鳥海弘氏のお人柄の賜物と存じます。鳥海弘氏は本年6月、神奈川県獣医師

師会会長の任を退かれましたが、現在も日本獣医師会副会長として重責を担っておられ、今後もご多忙の日々が続くことと存じますが、益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。(畜産会総務部)



広告

国産の牛乳、お肉、卵を食べてまもう

畜産物を生産するためのコストが上昇しています。
皆様に国産の畜産物を食べていただくことが生産者の応援に繋がります。

公益社団法人
中央畜産会
TEL.03-6206-0840

東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル9F

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。

令和7年度神奈川県畜産経営環境保全総合対策指導協議会にて堆肥活用研修会を開催

神奈川県畜産経営環境保全総合対策指導協議会（事務局…神奈川県）は（一社）神奈川県畜産会と共催で、12月1日（月）、レンブラントホテル海老名にて堆肥の活用推進を目的とする研修会を開催しました。研修会には、畜産農家、耕種農家、市町村等より約70名が参加しました。

研修会は3部構成で行われ、第1部は、羽賀 清典氏（一財）畜産環境整備機構）による講演、第2部は、農協職員の安藤 秋徒氏（よこすか葉山農協営農支援課）、耕種農家の細野 悟氏（株）伊勢原（細野農園）、県の松浦 京子氏（県農業技術センター三浦半島地区事務所普及指導課）による、取組事例の紹介および、畜産課 関谷臨時主事より、県が参加した各農機具展における耕種農家へのアンケート調査結果報告等、第3部は先にご講演いただいた羽賀氏を司会として、安藤氏、細野氏、松浦氏の3名をパネリストとしてパネルディスカッションを行いました。

第1部では羽賀氏より、堆肥の有効利用を通じた耕畜連携をテーマに、

耕種農家のニーズをとらえた堆肥、堆肥の土壌改良効果、畜種別堆肥の特徴と使い方・効果、堆肥流通の事例紹介等をご講演いただきました。

第2部では安藤氏より、組合員の肉牛農家と共に堆肥の腐熟促進・品質改良に取組んだ事例を、細野氏より、作日やほ場の状況に合わせた、4件の酪農家の堆肥の利用事例を、松浦氏より、三浦半島地域の農業の特徴、堆肥の需要動向、耕種農家が堆肥の使用をやめた理由や土づくりの状況、堆肥利用の減少による問題点等を発表いただきました。

また、畜産課からはJA全農かながわ、よこすか葉山農協および三浦市農協主催の各農機具展参加時に実施したアンケート調査により、耕種農家が堆肥に期待する効果としては通気性・保肥力・肥料効果が挙げられたこと、三浦半島地域では、堆肥を含んだ肥料や、家畜ふん堆肥を主成分としない有機肥料・緑肥を使う農家が多いこと等を報告しました。

加えて、今年度県が事業展開している堆肥の補助事業について、下半期の申請書提出期間が来年1月13日から始まる事、「堆肥成分分析支援」「堆肥発芽試験支援」「堆肥運搬支援」について、耕種農家個人も対象とすること等を情報提供しました。

第3部では、会場からの質疑に対し、パネリスト等が回答するという形式となりました。水田における堆肥の利用可能性や耕種農家と畜産農家との関係構築方法等、現状の課題に直結する質疑が出され、水田では牛ふん堆肥を稲わらの代わりに利用する、JAの青年部等での出会いを大事にする等、課題解決のヒントになりそうな回答が出されていました。

研修会を通じて、耕種側・畜産側共に、課題解決に必要な知識や経験談等を学ぶ事ができ、大変有意義な会となりました。

なお、研修会後の参加者アンケートでは、「堆肥利用の現況・有効性等基本的な事柄が理解でき、現場の貴重な話が勉強になった。」「堆肥を利用して耕種農家の話が具体的に参考になった。より多くの耕種農家の声を聞きたい。」、等、多くの肯定的な意見をいただきました。

「家畜ふん堆肥」を中心とした研修会は、前年度に続いて2回目となります。課題をより明確にしていけるとともに、生産者と行政等が手を携えて、何ができるかを探っていくため、このような対話の場を継続的に設けていければと考えております。

（畜産課 関谷）

地方競馬の収益金は
畜産振興に役立てられています。

川崎競馬開催日

2月2日(月)～2月6日(金)ナイター

3月2日(月)～3月6日(金)ナイター



羽賀氏の講演の様子

「令和7年度家畜保健衛生業績発表会」開催のお知らせ

県畜産課主催により、本発表会が開催されます。畜産関係者の皆様も是非、ご来場ください。

日時…令和8年1月30日（金）午前10時15分から

場所…神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）5F 映像ホール

（横浜市中区小菅ヶ谷1-2-1）

内容…家畜保健衛生所の運営及び家畜保健衛生の企画、推進に関する業務や家畜の保健衛生に関する試験・調査、畜産技術センターにおける事例発表等

※参加予約等はありません。

お問い合わせ先…県畜産課安全管理グループ（TEL 045-210-4518）

「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針及び留意事項」および飼養衛生管理基準の二部改正のお知らせ

鳥インフルエンザ等の指針では、対象家畜にエミューが追加され、大臣指定地域の取組が追加されました。飼養衛生管理基準では、重複・類

似した項目の統廃合が行われ、非商用家畜所有者の基準が新設されました。牛等および豚等の基準では、農場の分割管理に取り組む場合の対応が追記されました。また、鶏等の基準では、対象家畜にエミューが追加され、特に大規模な家きん所有者に対し、粉塵対策や分割管理の導入の検討、対応計画の作成について追記されました。内容をご確認頂き、飼養衛生の向上に引き続きご協力をお願いします。

詳しい情報はこちら…

①農林水産省HP「特定家畜伝染病防疫指針について」

②農林水産省HP「飼養衛生管理基準について」



お問い合わせ先…県畜産課安全管理グループ（TEL 045-210-4518）

「定期報告」提出のお願い

次の家畜の飼養者は令和8年2月1日現在の状況について、家畜伝染病予防法に基づく報告書等（定期報告）を提出して下さい。電子申請

（eMAFF…農林水産省共通申請サービス）での提出も可能です。

対象となる家畜…①牛、水牛、鹿、馬、めん羊、ヤギ、豚、イノシシ ②鶏、アヒル、ウズラ、キジ、ダチョウ、ほろほろ鳥、七面鳥、エミュー

提出先…管轄の家畜保健衛生所
提出期限…①4月15日②6月15日

詳しい情報はこちら…神奈川県畜産課HP「家畜所有者の「定期の報告」」



お問い合わせ先…県畜産課安全管理グループ（TEL 045-210-4518）

牛マルキン

（肉用牛肥育経営安定交付金制度）
交付状況

令和7年七月～九月交付金精算単価と十月交付金概算単価（肥育牛一頭当たり）

○肉専用種

七月	交付なし
八月	三一、一九五・八円
九月	一二、一六八・九円
十月	交付なし

○交雑種

七月	交付なし
八月	七、二七七・四円
九月	一〇、四三二・八円

畜産セミナーのご案内

日時：令和8年2月27日（金）13時～17時10分

場所：レンブラントホテル海老名 3階 ラ・ローズ（海老名市中央2-9-50）

共催：（一社）神奈川県畜産会、（一社）神奈川県畜産振興会、JA 全農かながわ、（一社）神奈川県養豚協会、神奈川県畜産会養鶏部会、神奈川県肉牛経営者協議会

- ① 環境表彰及び優良経営表彰 （一社）神奈川県畜産振興会
- ② 外部講師セミナー：「畜産現場における効果的な消毒について」 （公社）畜産技術協会 竹原一明先生
- ③ ベンチマーク手法を用いた県内畜産経営データの比較について （一社）神奈川県畜産会

（問い合わせは（一社）神奈川県畜産会 橋本）

十月 交付なし
乳用種

七月	四一、七一六・八円
八月	三三、四五三・九円
九月	三三、九七七・七円
十月	二、七一一・三円

（畜産会 倉迫）

本県では、かながわの畜産が、これまで、県民のご理解のもと発展してきたことに感謝し、これから、県民の期待に応える気持ちを込めて、毎年11月第一日曜日を、「かながわ畜産の日」と定め、この日に記念イベントを開催しています。

また、10月・11月を「かながわ畜産強化月間」と位置付け、県内各地で開催されるイベントなどを通じて、かながわの畜産をPRすること、県民の理解を深め、かながわの畜産の持続的な発展に繋げることをしています。

(畜産会 高尾)



作業をしながら農場チェック！冬の「ちょい見ポイント」ベスト5

冬は家畜にとって負担が大きく、農場も忙しくなる季節です。換気量が落ち、湿度の変動も大きく、疾病リスクも高まります。体調を崩しやすい時期だと分かっている、毎日の作業量も増えるばかり。「気になってはいるけど後回し」という声もよく耳にします。そこで今回は、あえて気負わずにできる、冬のちょい見ポイントを5つまとめました。普段の動きの中で、「あれ？」と感じたら十分です。

- ① 飼槽の固まり・残りの変化

冬は飼料の乾燥が進み、飼槽の隅に粉だまりや固まりが残ります。

湿気が加わると雑菌が増え、呼吸器病や下痢等の誘因になることもあります。飼槽の色や質感が変わっていないか、目を向けてみてください。

- ② 通路・スノコのぬめり感

低温期は乾きにくいいため、通路端やスノコの隙間にぬめりが残ります。ぬめりは細菌が増えやすく、踏んで広がる「動く汚れ」でもあります。歩いたときの感触や、光の反射具合で湿った箇所があれば、部分洗浄だけでも十分効果が出ます。

家保だより

- ③ 消毒槽の見た目チェック

消毒液は低温で効力が落ちやすく、濁り・色の変化・ゴミの浮遊は交換のサインです。農場規模に関係なく負担の少ない感染対策の一つで、病原体の持ち込みリスク軽減に直結します。

- ④ カーテン・窓からの風の入り方
隙間風は冬の咳・下痢等の一因となります。風の当たる特定の区画だけ調子が崩れるケースもしばしば。カーテンの張り、窓の微妙な開き具合を作業のついでに確認し、簡易な調整だけでも家畜の負担が大きく変わります。

- ⑤ 飼料庫の異物サイン

冬はネズミの侵入が増える季節です。袋のかじり跡や糞、微小な破れは重要な初期サイン。飼料庫に出入りした際に隅へ視線を送るだけでも、早期発見につながります。気づいたときに扉の閉まりや隙間を確認すれば十分です。皆さんが日々培ってきた現場の勘はとても精度が高いものです。その感覚を、作業をしながらのちょい見で引き出して、冬場のトラブルを減らしていきましょう！

(湘南家畜保健衛生所 佐々木)

自然破壊阻止には馬
今年も畜産はウマーいくよ

馬や牛を農耕作業に使い、郵便馬車の歌が歌われていた時代から七十年以上が経ちました。

楽しい便りを乗せて
蹄の響きも軽く

と歌っても「蹄ってなに？」と聞かれそうですね。現在の「ダイハツ」「マツダ」という素晴らしい乗用車で知られる会社が三輪の小型貨物車で

オート三輪車を作っていたこと、それが荷物運搬の主流

新むらすずめ

速さを競う軽種馬に比べ筋肉量が多いので廃用後には肉資源

だったのを知っているのは末期高齢者だけか。戦後八十一年になります。日本陸軍の野戦重砲隊の進軍移動にも軍馬が使われており

馬の鬣撫でながら

明日の命を誰が知ろう

と歌い、砲車を引かせ、砲身等を担がせて進軍したのです。

日本の工業力、経済力が高まり農作業用にエンジンのついたトラクターが普及してきたのが六十年前頃。それまでの雪国の農家は冬になると

農耕馬を連れて山奥の造材飯場に出稼ぎに行き、山の急斜面の狭い林の中から大型トラックが入る広場まで愛馬との共同作業で大木を雪の上を滑らせて運び出しました。ヒトも馬も激しい肉体労働で体格の小さな馬は疲労困憊し食欲不振にもなりました。

北海道の地方競馬には力持ちを競う軽種馬があり、軽馬に騎手と重い荷物を載せた種馬を引かせる競技です。それに使われる馬は重種馬。

速さを競う軽種馬に比べ筋肉量が多いので廃用後には肉資源

としての価値も高いです。競技で負けて引退する廃用馬を昔ながらの木材搬出作業に使う人がいました。重機を使うには周りを平らにしたり、林を切り開いたりして自然破壊が伴いますが、馬とヒトなら自然にやさしく作業ができます。

今年の干支は午(馬)
自然環境の守りも畜産業も
きつとウマーく いくよ

(忠九朗)